

2 児童生徒質問紙調査について

質問は9の項目「基本的生活習慣等」「挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等」「学習習慣、学習環境等」「地域や社会に関わる活動の状況等」「ICTを活用した学習状況」「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」「総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳」「学習に対する興味・関心や授業の理解度等」「各教科に関する調査の解答状況」になっています。

(1) 結果と状況および今後の取組

主な項目について報告いたします。表の数値は、選択肢のうち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」といった肯定的な回答を割合(%)として示しました。

		調査結果のうち特徴的なもの				状況および今後の取組		
1	基本的生活習慣	朝食を毎日食べていますか	市	県	差	生活状況では、「朝食の喫食」「就寝時刻」「起床時刻」という基本的な生活習慣は、県平均とほぼ同じです。基本的な生活習慣は学力面や健康面等影響があると推察されます。保健体育の授業や食教育等で睡眠の重要性や食事をバランスよく摂ることを指導することが大切です。		
			小	94.2	95.0			
			中	95.2	92.0	3.2		
		毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	市	県	差			
			小	88.4	86.4	2.0		
			中	78.4	82.3	-3.9		
			市	県	差			
2	挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等	自分には、よいところがあると思いますか	市	県	差	自身のよさに気づきいろいろな可能性があることを感じることが大切です。これから社会においては、個々の存在を認め合い、支え合うと共に、周囲と良好な人間関係を構築することが求められています。		
			小	88.5	88.9	-0.4		
			中	87.2	89.0	-1.8		
		先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか	市	県	差	子どもたちと先生がよい関係で過ごしている様子を感じられます。子どもたちも「認めてくれた」という安心感や信頼感があれば、新たな課題にも挑戦し続けることができるのでないでしょうか。		
			小	96.1	95.6	0.5		
			中	95.2	94.7	0.5		
		いじめはどんな理由があってもいいことだと思いますか	市	県	差	いじめはどんな理由があってもいいという肯定的回答がほとんどです。これまでの学校・家庭・地域の意図的・計画的な指導ばかりではなく、日常のあらゆる場所・機会をとらえて、あらゆる人々が指導してきた賜物だと思います。ただ、「いじめ」を肯定している児童生徒が若干名いることから、今後も指導を丹念にきちんと、そして速やかに行なうことを続けていく必要があります。		
			小	99.1	98.0	1.1		
			中	96.8	96.7	0.1		
		人の役に立つ人間にになりたいと思いますか	市	県	差	災害対策に於いて「自助(災害が発生した時に、まず自分自身の命と安全を守る)」「共助(地域やコミュニティの住民が協力し、助け合う)」「公助(公的機関による救助・援助活動)」という事が言われています。災害でなく学校生活や地域活動に於いても、まずは子どもたち自分自身のことを考えると共に、周囲の人たちのことを考えられる人間になってほしいと願います。		
			小	95.2	97.5	-2.3		
			中	97.6	96.9	0.7		
		学校に行くのは楽しいと思いますか	市	県	差	学習、友達、運動会・学園祭・児童会・生徒会行事、クラブ・部活動等に対して楽しさを感じています。学校生活に於いて一つでも多く楽しさを味わい、意欲的な学校生活が送れるようにしていくことが必要です。学校生活に馴染めない児童生徒に対し、寄り添い、学習・生活環境を整えていく必要があります。		
			小	87.5	88.0	-0.5		
			中	83.2	86.9	-3.7		

		普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	市	県	差	学習成果を感じ友達との交流を楽しみ、また地域では身近な人々、社会及び自然のよさに触れていると考えられます。このことは人々や物事を肯定的に捉え、これからも関わっていきたいという意欲に繋がって行きます。中学3年生は、思春期を迎えるとともに進路選択も控えており不安定な時期になります。様々な場面で自信をもたせ、それを応援してくれる家庭・学校・地域の安定した教育環境づくりが、なお必要になっていると言えます。
			小	94.2	94.5	-0.3
			中	92.0	92.2	-0.2
3	学習習慣、学習環境等	分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	市	県	差	高学年になるにしたがって学習も難しくなります。何を聞けばいいか分からず、うまく説明できない、相手に迷惑をかけてしまうかもしれない、何を言われるか等心配しているかもしれません。 児童生徒にまずは学び方を伝え、工夫したことによってわかる喜びを感じてほしいと思います。
			小	87.5	85.4	2.1
			中	75.2	79.7	-4.5
4	わざと地域活動社会の会状況に	新聞を読んでいますか。 (小中 週に1回から3回程度以上)	市	県	差	文部科学省から、「新聞を読む頻度が高い子どもの方が、平均正答率は高い」という結果が報告されています。新聞は、読解力、情報収集力、分析力、説明力、思考力、表現力等を培うのに格好の素材であり、今後工夫を加え、学力向上のための良い教材としていく必要があります。
			小	18.2	11.3	6.9
			中	4.8	7.8	-3.0
5	ICTを活用した学習状況	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	市	県	差	大月市では「ふるさと教育」を推進しています。子供たちに地域の「ひと」「もの」「こと」に关心と愛着をもち、かかわっていこうとする「当事者意識」を高めようとしています。ふるさと大月を次の世代にきちんと引き継いでいく責任を果たそうとする心が育っていると感じます。
			小	83.7	84.9	-1.2
			中	77.6	77.6	0.0
		あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くことなど)ができると思いますか。	市	県	差	
			小	83.7	85.0	-1.3
			中	87.2	85.4	1.8
6	に主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ができると思いますか。	市	県	差	電子黒板、書画カメラ、一人一台タブレット端末、Wi-Fi等の環境整備が行われており、授業で活用されています。AIドリルに、意欲的に取り組む姿が見られます。これからも学校ではICT機器の活用を推進し、より効果的に活用する機会を増やしていきたいと思います。
			小	92.3	92.2	0.1
			中	92.0	93.1	-1.1
		学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか	市	県	差	
			小	84.6	88.3	-3.7
			中	83.2	87.1	-3.9
			市	県	差	
		先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	小	92.4	92.5	-0.1
			中	86.4	87.7	-1.3
			市	県	差	
		授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	小	96.2	94.6	1.6
			中	94.4	93.4	1.0

3 大月市教育委員会事業との関わりについて

令和7年度の大月市学校教育指導重点に於ける教育理念は「夢にむかひ 共に学び 共に生きる」となっています。

基幹目標として「ふるさと教育」の推進、また基本目標として「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」等を挙げています。

「ふるさと教育」については、子どもたちと大人たちが共に学ぶことを通して地域ぐるみで豊かな未来を創ること、子どもたちに地域のことには今もこれからもかかわっていこうとする「当事者意識」を培い、生まれ育ったふるさと大月を次の世代にきちんと引き継いでいく責任を果たそうとする心を育んでいきたいと思います。

今年度も夏休みを利用した学習支援（基礎学力の定着と学習意欲の向上）の場として学校単位で5日間の「大月サマースクール」を開催して学力の補充をしています。各校において多くの子どもたちが、学力向上に向け真剣に、意欲的に学習する姿が見られました。

また、「大月っ子楽習サロン」を平日の放課後に実施し、日頃の学習課題に対応する取組が続けられています。これらの取組や、まだまだ改善の余地がある家庭学習の確立と充実に向けての取組を、各学校に引き続き働きかけて、本市の子どもたちの学力の向上を継続的に図り、学ぶ楽しさや分かる喜びを味わうことができる子どもたちを増やしていきたいと考えています。